

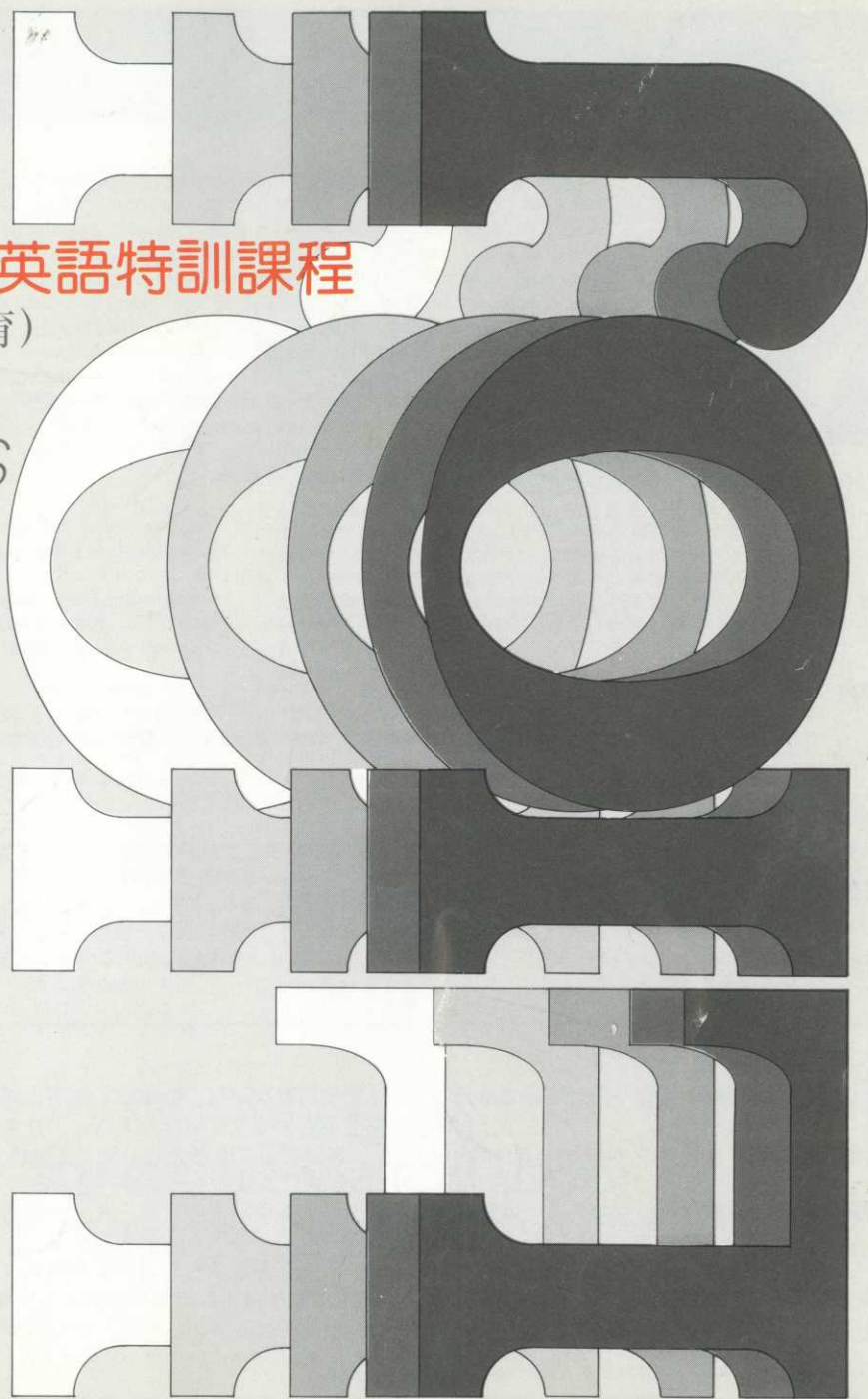
**LIOJ**

企業人向け《合宿》英語特訓課程

(4週間泊まり込み集中教育)

1982年講座御案内

*BUSINESSMEN'S  
PROGRAM*

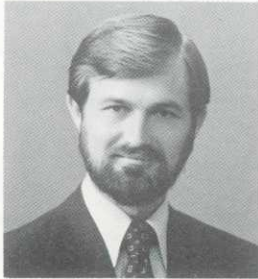


LANGUAGE INSTITUTE OF JAPAN

# LIOJ

世界に通用するビジネスマンの養成に

## INTRODUCTION



P. Lance Knowles  
(Director)

The increasing influence and business relationships of Japan have brought her into the international scene as a major power with global responsibilities. To this end, English, as the international language, has become a vital concern for the Japanese business and intellectual community.

We at LIOJ are dedicated to benefiting Japan and the international situation by teaching English in a way that facilitates successful communication and understanding. Our residential program, which brings together businesspeople and professionals from many of Japan's most important and successful companies, allows participants and faculty to come together as people rather than just as students and teachers. Much of the awkwardness that often accompanies interaction between Japanese and non-Japanese peoples is overcome during a typical four-week term at LIOJ, and in addition to developing the English and cultural skills that are necessary for doing international business, LIOJ participants are encouraged to learn how to use English for expressing their own personalities and ways of thinking. This is necessary if communication is to be anything more than a mechanical exchange of data.

LIOJ has been offering this 'English Only' residential program for the past fourteen years. We believe that it is through such a residential program that we can best serve the communication needs of those businesspeople and professionals selected by their companies for training at LIOJ. We are determined to do our best to continue serving the Japanese business community in this very important way.

### 校長略歴

米国カリフォルニア州出身、物理学と数学の研究で学位を取得後、カリフォルニア大学パークレー校にて、第二言語としての英語教育 (ESL) 専門家として実績を積み、ミシガン大学より Danforth Teaching Fellowship の称号を受けて教壇に立つなど米国各地で幅広い活躍を果たし、一方新しい教本も国際的に出版しております。

### —企業人向け《合宿》英語特訓課程の御案内—

本課程は海外出張・海外駐在を予定しているビジネスマンや、日頃業務上で外国人と接する機会が多い方、及び職業柄特に英語を必要としている「全職業者」のために企画された「英語」と「コミュニケーション」の特別集中教育講座です。

短期間に集中的かつ実践的な「特訓」を受けて英語力の飛躍的増強を図ると同時に、日本語社会から切り離された「英語オンリー」の環境に一定期間缶づめになるという、言わば、「ショック療法的な生活体験」を通して、表現の違い、発想の違いなど異なる文化に対する理解と適応力を養い、単なる英語の修得のみならず、コミュニケーションのひとつの道具として、より効果的な英語の活用方法を会得し激動する国際情勢に対抗しうる本格的国際ビジネスマンの養成を目的とします。

### 本課程の特色

- 1 全寮制による集中教育 [English Only]……… 4 週間の期間中は、仕事から完全に離れ、朝から晩まで Native Speaker と生活を共にし、授業時間はもちろん、日常生活のすべてを英語で行います。
- 2 優秀な講師陣 [15名の Native Speakers]……… 英語を第二言語として教える学位 (ESL) を修得したエキスパートを中心に、経験豊富なキャラクターをそろえております。
- 3 能力別少人数教育とバラエティーに豊かな受講者……… 各回32名の定員を6～9名前後の能力別4クラス編成にします。受講者は、新人から幹部に至るまで、事務・技術系を問わず、様々な立場の方が参加され、自由な雰囲気でのコミュニケーション集団が形成されます。
- 4 BUSINESS STUDIES……… ビジネス関係資料や VTR を活用し、国際ビジネスの場で必要とされる実践的な指導を致します。
- 5 CULTURAL INTERACTION……… コミュニケーションスキルの体得と、ヒューマンリレーション・異文化理解への対応力を養います。

# LIOJ

受講者推薦のことは

## RECOMMENDATIONS



岩井 義和

(ゼネラル石油株式会社)

4週間の合宿教育も終わりとなり、校長より修了証をひとり、ひとりに授与され、卒業パーティーになると、誰もが「ああ、もう終わりか」という感慨を抱く。去り難い気持ちから、寸劇やら歌唱が終わった後も、夜半迄会場を去らない者が多い。このように LIOJ の教育は印象深く、かつエンジョイできるものであった。

まず、参加者の能力により、7名位の小クラスに分けられ、経験豊かな Native Speaker の教師3名が専任で各クラスを担当される。教育は各クラスの進行具合と要改善点を検討しながら、弾力的に組み、基礎的表現方法と、企業人に要求されるコミュニケーションスキルを磨くうちに次第に力がつく仕組みになっている。例えば、各人のプレゼンテーションをビデオにとり、矯正点を明示して頂いたり、電話やスピーチをテープからタイプにとり、改善点を指摘される。またフィルムを通して、欧米ビジネスマンの行動様式がヒヤリング訓練と平行して教え込まれ、適切な教材を使って図形や、物品の運搬の説明の仕方迄楽しみながら学習できるユニークな内容である。

ランス校長のお話では、このセミナーは単なる英会話力の上達を狙ったものではなく、国際的ビジネスマンとしての基礎的素養を身につけることを参加者に期待している。また良質な教育を目的としているため、事業を拡大することなく、適正規模に維持されている。

朝8時半から夕8時半迄の間、適当な休憩をはさみながらの教程の外、夜と土曜日は自由参加の海外スライドショー、カクテルパーティー、外国民謡合唱、バスツアーなどバラエティに富んだ英語を使っている行事が、一層合宿生活に色をそえる。教師も米国各地方、オーストラリア、カナダ、ヨーロッパなど各国で修学され、かつ海外で教育の経験を積まれた方が多いので、食事時間や、夜アルコールを入れて我国と外国とのビジネスマンビヘビアの比較、風物のお話をかわすのも楽しいことである。

このようなセミナーを支えているのは、LIOJ の非営利事業として使命感に燃えた努力であり感謝の外はない。宿泊設備、食事なども適切に配慮されているといえるだろう。

自分の参加経験から云って、年令、会話力のいかに問わず、これから海外勤務をされる方は云うに及ばず、一般に自分の英語コミュニケーションスキルを改善したいと思われる方に、是非このセミナーに参加されることをおすすめする。会話力の初歩的な人程、大きな進歩がこのセミナーで得られるし、特訓などという語感からくる圧力はなく、誰もが自分のペースで合宿を楽しみながら能力を伸ばすことができる。この種の教育では我国で享受できる最高のものであろう。



鈴木 眞一

(ヘキストジャパン株式会社)

LIOJ の卒業証書を手にしよりの我家へ帰る電車の中、日本人同志がおしゃべりしている側で、なぜか日本語が外国語に聞こえたのには不思議な気がしました。「言語」はコミュニケーションの道具であることを改めて認識した次第です。といえますのは、LIOJ に在学中は英語だけがコミュニケーションの手段でありその他の言語では一切コミュニケーションできない、いわば言葉の真空状態に置かれておりましたから、生活するためには必然的に英語という言語を使わざるを得なかったわけです。発音とか文法にこだわっているわけにはいかず、とにかく自分の意志とか考えていることを表現しなければ生活できないのですから、カタコトでもなんでもしゃべらなくてはなりません。

幸いなことに私の場合、大学迄の英語知識はおぼろげながらありましたから、後はコミュニケーションの手段として使いこなせるようになればよかったです。「L」と「R」の発音が正しくできるに越したことはありませんが、間違っても意味は十分通じます。かつこうつけて気取っていたら損です。授業中は勿論、食事のときでも休憩のときでもとにかく積極的に話すことが上達の早道だと思います。ゴルフの本を何冊読んで実際にクラブを握らなければ上達しないように、英語も頭で憶えるだけでなく、実際に使いこなすことが上達の秘訣といえます。

LIOJ のカリキュラムは長年の経験をもとに実によく工夫されており、飽きることがありません。適度な緊張感により授業中、眠む気を催したことは一度もありませんでした。LIOJ での生活全体にテンポとリズムがあり、4週間またたく間に過ぎた感じです。

私は44才にて、考えるところあり純日本の会社から一転して外資系の会社に勤め始めたばかりですが、おかげで日常の会話はもとよりビジネスミーティングでもほとんど不自由を感じません。ちなみに私の英語力は読み書きはある程度できて、ヒヤリングと話す力はほとんどありませんでした。

4週間は短い期間ですが、重要なことは英語という言語に馴じむキッカケを掴むことができたことだと思います。LIOJ 卒業後もテレビの2ヶ国語放送や、FEN のニュース、英字新聞は欠かさず聴いたり読んだりしております。

英語をマスターするには、高い旅費をかけて海外に行くより、LIOJ の方が効果があると思います。LIOJ は日本の中のアメリカあるいはイギリスといっても過言ではありません。



西山 千

(国際コミュニケーター)

## 日本語より 英語の方がとっさに出る人も……

英語をいっそう集中的に学習する方法として、英語国民と数週間合宿する方法がある。その例は、小田原の Language Institute of Japan (LIOJ) に見られる。LIOJ はアメリカ人の校長の下で若いアメリカ人が十人ないし十数人先生になっていて、そこに日本人研修生が数十人いっしょに泊り込んで、朝から晩まで英語だけで話をする。食事のときも読書についても英語で話し合う。教室ではもちろん英語である。(中略) LIOJ に参加して二週間ぐらい集中教育を受けると、人によっては日本語が簡単に出なくて、英語の方がとっさに出るようになる。それが一つの峠を越えた証拠だろうと思う。

著書「英語のでこぼこ道」より抜粋。(サイマル出版会)

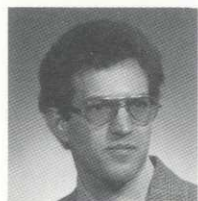
# LIOJ FACULTY & STAFF

講師は米国、カナダの大学、ビジネススクールの推薦にもとづき、書類選考ののち、校長が毎年渡米し、各地で直接インタビューを行った上で、人格、能力ともに最もすぐれた学究を招へいしています。英語を第二言語として教える学位 (ESL) を修得した語学教育のエキスパートを中心に、技術、法律、外交等国際ビジネスに関係する様々な領域、事例等により広く対応するために、各分野からすぐれた人材を採用しております。1982年度は15名の講師のうち10名が修士または同等の学位をもっていると同時に、経験豊富なキャラクターをそろえ、それぞれのクラスに男女の講師を配置し、バラエティーをもたせております。

また常に最高のコンディションで指導にあたるよう、効果的な教材、教授法の開発に努めるとともに、語学教育研究誌「Cross Currents」を編集、発行し、現在世界20ヶ国以上で愛読され好評をいただいております。また、数名の講師は英語教育教材、テキスト等を独自に開発し国際的に出版しております。LIOJ講師陣の研究実績はESL教育界にあっては日本はおろか世界的にもトップレベルの内容を誇っています。

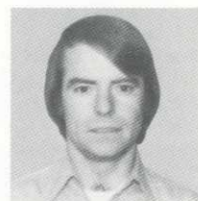
これらの講師が、授業時間はもちろん、食事、イブニングプログラム等を通して積極的に受講者に接し、話し合う機会をもつという、合宿制ならではのすばらしい教育環境を提供致します。

## FACULTY



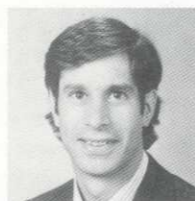
Amir Avitzur

B.S. Industrial Engineering, Lehigh University. Has experience as a lab technician at the Inst. for Metal Forming at Lehigh Univ. and research assistant at a major electrical company in Europe. He has also toured companies in China.



Jim Bergstrom

B.A. English and Speech, Pacific Lutheran University. Has taught English in Thailand and in Washington state, where he also supervised an English program. He enjoys languages, photography, and Asian cultures.



Andrew Blasky  
Editor, Cross Currents

Ph.D. English Literature, Univ. of Calif., Berkeley; B.A. English Lit., Princeton Univ. Has taught English at Univ. of Calif. and worked on the Navajo Indian Reservation in New Mexico, teaching English and working in the community.



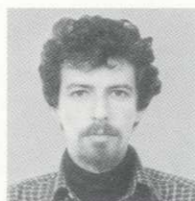
Lori Brooks  
Editor, Cross Currents

M.A. (TEFL) San Francisco State Univ.; B.A. French, Pitzer College. Has taught English at the Univ. of San Francisco, World English Center, and at Alemany Community College Center. Has lived in France and travelled extensively in Europe.



Elizabeth Chafcouloff

M.A. Candidate (TEFL) S.F. State University; B.A. French, Regis College. Studied at *Universite de Provence, Institut pour etudiants etrangers* in France and received certification in French grammar, translation, and literature. Has experience in Europe, Africa, and Mexico.



Bill Gatton  
Community Program Instructor

M.A. in progress, Creative Writing, San Francisco State Univ.; B.A. political Economy and History, Towson State University. Has taught politics and government in the U.S. His interests include the theater arts and literature.



Penny James

B.A. Sociology, University of Winnipeg in 1970. Has taught English and Business Skills in a secondary school in Ghana, West Africa as a C.U.S.O. (Canadian University Service Overseas) Volunteer.



Michael Kleindl

M.A. TEFL, Southern Illinois University; B.A. German, Russian, Southern Illinois Univ. Has taught Russian, German, and English at S.I.U. He lived for two years in West Germany, and has travelled throughout Europe, including the Soviet Union.



Warrick Liang

B.A. History, University of California, Berkeley. Has taught in the U.S. and for a company in Japan. A Chinese-American, he is interested in Chinese and American history, social institutions, and languages.



Sheila McNery

B.Ed. English and ESL, University of Toronto; Ontario Teacher's Certificate. Her teaching options were English and English as a Second Language (E.S.L.). She enjoys winter sports, reading, and playing the piano.



Elizabeth Neblett

M.A. Education (TESOL), Boston University; B.A. Human Services, Brown University. Has taught at the Center for English Language and Orientation, Boston University. Her interests include old movies, needlepoint and music.



Robert Ruud-Pretebak  
Academic Supervisor

M.A.T. (TESOL), School for International Training; B.A. English/Education, Coaching, Moorhead State University. He taught ESL and was a teacher trainer in Tonga (Polynesia). He has also taught Laotian refugees in the U.S.



Ruth Sasaki

M.A. in progress, Creative Writing, S.F. State University; B.A. English Literature, Univ. of California, Berkeley. Has taught ESL in the U.S. at Univ. of Calif. Extension, Berkeley, and has co-authored two ESL textbooks. She has also given teacher-training workshops.



Thomas Smith  
Editor, Cross Currents

M.A. in Law and Diplomacy, Fletcher School of Law and Diplomacy; B.A. Demography and Population Studies, Duke University. Has worked as a Research Assistant and also as an editor for the *Fletcher Forum*, a journal of foreign affairs.

## OFFICE STAFF



Yoshiko Oguri      Nobuhito Seto      Megumi Yoneyama

講師たちの工場見学



# LIOJ

## 《合宿》特訓課程の概要 CURRICULUM

本課程は、語学教育にとって理想とされている、TELLS (TOTALLY ENGLISH LIVING & LEARNING SITUATION) 方式を日本で唯一本格的に採用している全職業人のための「英語特訓プログラム」です。  
4週間で240時間を越える授業と課外生活(食事、パーティー等)を、外国人講師とはもちろん、受講者同志も英語で話し、共同生活をしていただくという「英語オンリー」の環境下で日本人ビジネスマンが最も不得手とするリスニング、スピーキング能力を飛躍的に向上させると同時に、外国社会、文化、ビジネス習慣などの理解を深めて、外国人との「効果的な対話」を行う、コミュニケーション能力の強化増進を図ることを目標としています。

### ●概要

- 4週間合宿(26泊27日)
- 年間11回開催(123期~134期)
- 能力別4クラス編成(夏期は5クラス)
- 各回定員32名(夏期は若干増加)
- 1クラス定員6~9名(3名の男女講師が指導)
- 講師対生徒比(1人:2.5人)

### ●受講資格

高校卒業程度の基礎英語力を持つ18才以上の方で英語習得を熱心に希望され、4週間の合宿生活に耐える心身ともに健康な方。

### Daily Program Schedule

8:00-8:30: Breakfast, usually Western style.

8:30-12:10: General Conversational English (Synthetic)

このクラスでは英会話の基礎的な能力(文法、発音、スピード、リスニング等)を養うため、視覚教材、テープ、L.L. テキスト等を効果的に使って授業が進められます。特に誤りの訂正、明解な表現能力、正確な意志伝達能力の向上に主眼が置かれると同時に、丁寧な表現や形式的な文法等、状況に応じた適切な表現能力の開発を図ります。  
初級クラスでは、LIOJ 受講後の継続的な英語学習の為に必要な基礎知識の習得に重点を置き、中級以上のクラスでは基礎知識の復習、よりスムーズな会話能力と聴解力の向上に重点が置かれます。



12:10-1:10: Lunch with instructors, free conversation

1:10-3:30: General Conversational English (Analytic)

このクラスではモーニングクラスを更に一歩進め、より広範囲な状況下での会話能力の向上に重点が置かれます。  
スピーチ、要約、映画、ディクテーション、テープ等を通して、機能的な英語力と、複雑多岐な、そして、より自然な英会話の理解力を養成します。そのために、文法等の指導はさけ、全体の内容を把握する能力の開発を図ります。



3:40-4:30: Free time, sometimes used for individual conferences with instructors to go over assignments.

4:30-6:00: Business/Technical Communication Skills

このクラスは実践的なビジネス英語の習得と国際ビジネス社会で必要とされる知識と教養を身につける課程です。クラス内で、個々の職業やプロジェクトに関する発表を行い、講師から論旨及び論法が明確であるか否かのチェックをうける事により、発表能力の開発と向上を図ります。その他、レベルによって異なりますが以下にあげたような事柄に重点がおかれます。

- 1) 会議などで用いられる丁寧な表現方法や、電話、アポイントメントの取り方
- 2) 業務等で必要な複雑な内容、考えを正確に伝えるための言いまわしや留意点
- 3) 日本人が得意な数、及びグラフ等、量に関する英語の表現方法

高、初級者の方で、ビジネスミーティング等、より複雑な業務につかなくてはならない方は、二期以上受講することをおすすめします。

6:00-7:00: Dinner with instructors, free conversation.

7:00-8:30: Business/Technical Communication Skills (continued)

8:30-11:00: Preparation time; social time for non-classroom free conversation with instructors; and evening programs.



### MONTHLY SCHEDULE

#### Opening Day

初日に筆記及びインタビュー試験を行い受講者の基礎知識と会話能力を調べ、各人のレベルに応じたクラス分けを行います。オリエンテーションでは、4週間の生活説明がなされ、「Happy Hour」及び夕食の時間を通して講師及び受講者間の自己紹介がなされます。

#### Thursday Evening Lectures

毎週木曜日、7:00PM~8:30PMにLIOJの講師又は外部からの講師による特別レクチャーを行います。テーマは主に国際関係論で、受講者が海外で仕事をするうえで必要とされる事柄についての知識と感覚を身につける事をねらいとします。

#### Cocktail Party and Evening Programs

LIOJの合宿コースがもっている特色の一つで、カクテルパーティー等規定授業時間外に行われるプログラムです。この時間に教師と生徒という関係をはなれ、一個人として接する事により、外国人とのコミュニケーションをよりスムーズにする能力を体得し、自信を植え付ける機会を与えます。LIOJでは受講者に、できるだけこの時間を有効に使うことをおすすめしております。

#### Saturday Morning Programs

第1週と第3週の土曜日の午前中に行われるプログラムで、スポーツ、バス旅行等、よりリラックスした雰囲気の中で、クラス内では学び得ない真の生きた会話を体得し、実践する事をねらいとします。



土曜プログラム(アイススケート)

LEVEL	GOAL	EVALUATION
<b>BASIC LEVEL</b> <b>◆対象者</b> このコースは、英語の基本については学んだものの、相当期間英語学習から離れていたため再度基本についての学習を要し、さらに一般的なビジネス英語の習得と、外国社会について理解を深める必要があるビジネスマンを対象にして進められます。 <b>◆指導ポイント</b> 日常生活でよく使われる基本的な言いまわし、文法、ボキャブラリー等を学習し、それらを合宿生活の中で実践して、英語によるコミュニケーションの実態をつかむことに重点が置かれます。	基本的な英語力を身につけると共に、それを日常生活の中で英語として生かすことができ、一般的なビジネスの場において簡単な意志伝達を行うことができるようになる。  ※なお、このレベルに該当する受講者で、課程終了後直ちに複雑な海外業務に赴任が決まっている場合は本課程を再度、連続か又は隔月で2期以上受講することをおすすめします。	<b>INITIAL EVALUATION</b> ORAL INTERVIEW (口頭面接) PLACEMENT TEST (選択問題) LISTENING TEST (聴解力テスト)  <b>FINAL EVALUATION</b> LISTENING TEST (聴解力テスト)
<b>INTERMEDIATE LEVEL</b> <b>◆対象者</b> このコースは、優れた英語の知識はあるが、それを会話力として実践の場で応用していくことに難があると共に国際ビジネスマンの基本的なルールや外国社会・文化・習慣をより深く理解する必要があるビジネスマンを対象にして進められます。 <b>◆指導ポイント</b> 日常生活や仕事上で、様々な対応を求められる外国人とのコミュニケーションを自然な形に近づけると共に、英語による一般的な「問題解決能力」の開発を図ります。	日常的な英会話はほとんど不自由なく話すことができ、ビジネスの場においても相当の意志伝達ができる英語力を身につける。又、海外での長期滞在生活にも充分適応できる知識と経験を得る。	<b>FOLLOW UP GUIDANCE &amp; EVALUATION REPORT</b> 各回最後の週にFollow-Up学習のための具体的な Suggestionを行います。 また講座終了後、個人別に能力評価と今後の学習目標について Evaluation Reportを行います。 このReportは「コミュニケーション能力」の総合評価を試みるもので、外国人とどの程度英語でコミュニケーションできるか、また将来の業務予定に照らして現在の英語力はどうかといった点について教師の所見が述べられます。
<b>ADVANCED LEVEL</b> <b>◆対象者</b> このコースは、非常に優れた英語の知識がありかつ英会話についても相当の実力があるが、さらに国際ビジネス社会の実際について、高度な理解と実践訓練を必要とされているビジネスマンを対象にして進められます。 <b>◆指導ポイント</b> 英語をより正確にしっかりと身につけるため厳しい矯正が加えられる他、業務上で直面する複雑困難な状況を打開・達成するために不可欠な英語による高度な問題解決能力の開発を図ります。	本格的国際ビジネスマンとして必要な知識と国際的視野を身につけ、ビジネス上の問題については外国ビジネスマンとほとんど対等に話し合うことができるような交渉力の増強と共に海外生活において相当の実際を行うに必要な知識と経験を得る。	



ハッピーアワー



プレゼンテーション



授業風景



カクテルパーティー



講師にインタビュー



修了証書授与

#### 4週間の合宿生活と受講者の自主活動について

受講者は「英語社会」の実際をさまざまな場面で体験的に学習するため、4週間の合宿生活全体を通じて、各種の課外活動に参加します。

なかでも特に大きなウェイトをしめるのが毎日の食事時間です。食堂では講師を囲んで4～5人ずつが1つのテーブルについて食事をとっていただきますが、合宿生活ならではのクラスを離れた自由な会話環境がアレンジされますので、日本人が最も不得手とするインフォーマルなコミュニケーションスキルを会得するのに最適な時間となります。

このほか規定授業の後も各種のイブニングプログラムが催されます。プログラミングは各回若干異なりますが、「ハッピーアワー」・「スライドショー」・「カクテルパーティー」・「フットラリー」・「ボーリングゲーム」・「ファミリースタイルディナー」・「特別講演」等々合宿講座ならではの多彩な企画が毎週用意されるほか、土曜日の午前中も「スポーツ・レクリエーション」・「映画鑑賞」等の催しが開か

れます。又最終日には「フェアウェルパーティー」が開かれ、期間中クラス単位で製作した「プロジェクト」の発表なども行われます。

一方受講者には、左記にあげた規定授業と課外活動以外の時間をどう充実させるか自分自身で考えてオーガナイズして行くことが義務づけられます。これは、受け身の姿勢でない主体性をもった自発的な考えを「英語」で計画・実行することで、英語社会の中で生きる上に不可欠な「自立心・独立心」を養うためです。

たとえばグループでパーティーを計画して講師を招いたり、テーマを決めて自主研究し、卒業時に皆の前で発表したり等何でもよいのです。

LIOJで苦勞して何かを仕上げた満足感はそのまゝ外国で生きる「自信」につながるでしょう。

LIOJはそうした受講者の自主活動が120%充実したものと看做す期待いたします。

# LIOJ

場所および施設

## LOCATION & FACILITIES



LIOJ 全景

LIOJは小田原市郊外の高台にそびえるアジアセンター内に設置されています。アジアセンターは国際会議場・企業の教育研修場として多くの方々にご利用いただいている地上5階地下2階の建物で箱根山を背に相模湾に面し、伊豆、大島、房総半島などを一望におさめる景勝の地にあります。200名の宿泊設備に加えて会議室、映写設備、冷暖房も完備しており受講者の方には期間中なるべく海外生活に近い雰囲気の中で受講していただくため、宿泊はすべて洋室(バス・トイレ付2～4名の相部屋)で、食事、レクリエーション、など原則として外人講師と一緒に過ごしていただきます。又、各種スポーツ用具の無料貸出しや、大型バス、L.L.システム、VTR装置等充実した設備が用意されています。

◆交通の便

新幹線  
東海道線  
小田急線

小田原駅下車 駅からタクシーで5分

- 東京駅から新幹線こだまで 42分
- 新宿駅から小田急ロマンスカーで 70分
- 名古屋駅から新幹線こだまで 2時間10分



食事風景



プレACEMENTテスト



開講日オリエンテーション



宿泊室

# LIOJ

過去に受講された企業等一覧

## PARTICIPATING FIRMS

### ●建設、鉄鋼、非鉄金属、輸送用機器関係

旭アレコン  
関東建材工事  
熊谷組  
甲陽建設工業  
共栄工事  
日立プラント建設  
日本建設コンサルタント  
佐伯建設工業  
清水建設  
三井不動産建設  
竹中工務店  
飛鳥建設  
東海電気工事  
小野田エンジニアリング  
東レエンジニアリング  
小田原エンジニアリング  
池貝鉄工  
石川鉄工  
佐藤鉄工  
木村刃物製作所  
ミソノ刃物製作所  
日本バルジ工業  
新日本製鐵  
日本鋼管  
日本金属  
日本軽金属  
日本金属工業  
日本冶金工業  
日鉄建材工業  
三菱金属  
新東プレター  
平河電線  
日立造船  
三菱重工業  
川崎重工業

三菱自動車工業  
三井造船  
来島どつく  
寺岡造船  
日本ドーバー  
日本鋳鍛鋼  
ノーリツ鋼機  
住友重機械工業  
石川島クレーンメンテナンス  
アイシン・ワナー  
日本総合建築事務所  
総合設備コンサルタント  
日本飛行機  
日本ファーマス工業  
日本国土開発  
トヨタ自動車工業  
いすゞ自動車  
鈴木自動車工業  
ヤスキ産業  
日本ケーブルシステム  
住友金属鉱山  
国際計装  
千代田計装  
日本テトラパック  
リョービ  
東邦化工建設  
ユナイテッド・エンジニアリング  
神戸製鋼所  
新潟鉄工所  
住友金属工業  
住友石灰鉱業  
川崎製鉄  
千代田化工建設  
小松フォークリフト  
●機械、電気、精密機器関係  
小松製作所  
奈良機械製作所  
日本ダンフォス

日本空圧機工業  
日本エス・シー・アール  
昭和空圧機工業  
油研工業  
アンテナ技研  
アルプス電気  
富士通  
開発電子技術  
KDD  
コバル精密  
明電舎  
松下電産  
松下電装機器  
ミツミ電機  
三菱電機  
日本IBM  
日本アビオロニクス  
日本電装  
日本インターナショナル整流器  
ソニー  
三和エレクトロニクス  
山水電気  
山水音響  
立石電機  
東大無線  
安川電機製作所  
横河電機製作所  
富士電機製作所  
日立電子  
田辺化工業  
小松インターナショナル製造  
河内湖精密  
富士通テン  
豊田自動織機製作所  
ソニーマグネトロダクツ  
バイオニア  
三和テック

小松電子金属  
コナル  
東洋製缶  
沖電気工業  
東京電力  
九州電力  
電源開発  
日本通信協力  
三和大栄電気興業  
鐘通工業  
新電元工業  
サンドビック・ジャパン  
東海電化工業  
シクタン  
野村精機製作所  
湯浅電池  
北沢バルブ  
アイワ  
第一精工  
平田機工  
日本ロシュ  
日本電気硝子  
フィリップス工業振興  
日本フィリップス  
東西電機  
ソニー幸田  
日本シェーリング  
日本ビクター  
東洋キャリア工業  
東洋通信機  
日本ムーン  
武蔵精密工業  
日本マイクロモーター  
●繊維、パルプ、紙、化学、石油、ゴム関係  
旭化成工業  
大同毛織  
日清紡績

大東紡織  
三菱レーヨン  
帝人  
東レ  
東邦レイヨン  
東邦ベスロン  
鐘紡  
王子製紙  
大王製紙  
本州製紙  
十條キンバリー  
北村パルプ  
ナショナル木材工業  
山陽スコット  
東洋パルプ  
バイエル ジャパン  
台糖ファイザー  
亀山ローソク  
関西ペイント  
花王石鹼  
小西六写真工業  
共栄社油脂化学工業  
松本油脂製薬  
三井フロロケミカル  
日華化学工業  
日本クエーカーケミカル  
日本ケッチェン  
日亜化学工業  
住友バイエルウレタン  
戸田工業  
東芝シリコン  
アブダビ石油  
丸善石油  
モービル石油  
シェル石油  
鹿島石油

ブリヂストンタイヤ  
エクソン化学  
シェル化学  
徳山曹達  
東洋化学産業  
ゼネラル石油  
日揮化学  
プロクター・アンド・ギャンブル・サンホーム  
アンネ  
北陸製薬  
ジョンソンエンドジョンソン  
P & G石鹼  
P & Gサンホーム工業  
東洋プロダクツ  
三共ベガサス  
日本オイルシール工業  
宇部アンモニア工業  
安徳皮革化成所  
ジョンソン  
デュボンファーマーイースト  
ブリヂストンバルブスチールコード  
巴川製紙所  
ダウケミカル日本  
日本特殊農薬製造  
トーレ・シリコーン  
永井衣料  
ポリプラスチックス  
四国化成工業  
日本プロクター&ギャンブル  
サン・アロー化学  
日本ユニカー  
住友スリーエム  
日本アスベスト  
日本ヴィックス  
ローズ・フーラン・ジャパン  
ヘキスト・ジャパン  
日東化学  
横浜ゴム  
●金属、保険、証券、会計事務所関係  
第一勧業銀行  
平和相互銀行  
西日本相互銀行  
日本長期信用銀行  
日本開発銀行  
協和銀行

三和銀行  
太陽神戸銀行  
三菱信託銀行  
三井信託銀行  
安田信託銀行  
住友信託銀行  
中央信託銀行  
明治生命保険  
住友生命保険  
第一生命保険  
東京海上火災保険  
大正海上火災保険  
大成海上火災保険  
第一証券  
三洋証券  
新日本証券  
山一証券  
山種証券  
和光証券  
日本勧業角丸証券  
ナショナル田林証券  
アーンスト&ウイニー  
デロイト・ハスキンス&セルズ  
監査法人サンワ事務所  
ビートマーウィックミッチェル  
ブライズウォーターハウス  
ライブラント会計事務所  
辰己共同会計事務所  
鈴木豊会計事務所  
扶桑監査法人  
昭和監査法人  
九段法律会計事務所  
●官公庁、大学、研究所、病院関係  
電電公社  
川崎市役所  
専売公社  
大蔵省  
郵政省  
運輸省航空局  
国鉄  
慶応義塾大学  
長崎大学商工短大部  
日本大学医学部  
東京医科大学  
東京工業大学

早稲田大学  
フランシスコ修道会本部  
国立精神衛生研究所  
動力核燃料開発事業団  
医道の日本社  
日通総合研究所  
日本リサーチセンター  
日本海事検定協会  
日本能率協会  
日本機械学会  
日本軽金属総合研究所  
野村総合研究所  
鈴木特許事務所  
幕張医院  
日本大学病院  
弘前大学医学部  
法政大学  
河上病院  
大阪府立貿易専門学校  
東京理科大学  
東京歯科大学  
日本国際交流センター  
日本軽金属総合研究所  
東北大学医学部附属病院  
豊橋技術大学  
●商業、サービス関係その他  
ユービーシー商会  
アイワ商事  
蝶理  
エクマン商会  
福本  
富士塗油器  
ヒロカメ商会  
汎米貿易  
光南通商  
北尾書籍貿易  
教文社  
松坂屋  
日本紙パルプ商事  
オール商会  
オールドバー  
OSG販売  
パレス・エンタープライズ  
ラッキー商会  
ローヤルインターオーシャンラインズ

さいか屋町田店  
泉燃糸  
三・エス  
三洋貿易  
トヨタ自動車販売  
東京三菱コルト自動車販売  
養命酒製造  
電通  
博報堂  
逢来閣食堂  
国際トラベルサービス  
朝日新聞東京本社  
日本テレビ放送網  
アキタ  
旭松凍豆腐  
アジア海運  
米海軍厚木基地航空機修理部  
BOISE CASCADE CORP  
ナショナル朝比奈法律事務所  
ビューラミマダ  
エアーリフト  
G.D.SEALE FAR EAST INC.  
北野輸送  
キトー  
中野汽船  
日本水産  
日本航空  
日本ムーン  
岡村製作所  
オブティマスジャパン  
ポリドール  
シンワ運輸  
サイバガス  
サンビー輸送  
セントラル硝子  
東洋航空事業  
東京急行電鉄  
東亜国内航空  
東京ガス  
ウインスロップ  
山九運輸  
アセア・ガデリウス  
ケモ・コスメテック販売

守谷商会  
日本規格協会  
三洋出版貿易  
タカキペーカリー  
トヨペットサービスセンター  
シーメンス  
サン・ヴァレ  
国際ヨーヨー  
中川デザイン研究所  
世界救世教  
山下新日本汽船  
昭和郵船  
マン・パワ  
東旺出版  
長野ココロラボリング  
馬場大光船商  
オリエンタルモーター  
日本経営者団体連盟  
日本生活協同組合連合会  
BOISE CASCADE CORP  
後楽園スタジアム  
三浦印刷  
にっかつ  
味の素  
シーメンス・トラベル  
シーメンス・メディカル・システムズ  
日本オリベッティ  
トミー  
高久  
日本シーケーアール  
藤井商会  
プリマム  
グレイ大広  
松本倉庫  
三川  
松永酒造  
三成物産  
J.ウォルター・トンブソン  
ホテル華陽館  
日本アスレックスクラブ  
日本スタンダー

(順不同)

以上406団体、2,465名の受講者があり、それぞれ内外の第一線で御活躍中です。

### 利用企業の声

当社事業の国際化の進展にともなって、社員の国際的なコミュニケーション能力の一層の向上と国際感覚の養成が不可欠となっている。LIOJは、短期間にこの要請に応える効果的な集中研修である。当社では、国際化対応の中核となる人材を逐次派遣し成果をあげている。

**新日本製鐵株式会社 能力開発室**  
海外派遣予定者はもちろん、あらゆる層の社員に実践的な英会話の修得と精神的な自信を植え付けるのに効果をあげている。と同時に、海外勤務経験者のブラッシュアップにも、LIOJを利用している。

**清水建設株式会社 人事部 研修課長**  
LIOJの合宿による集中訓練は『学ぶ』『習う』だけでなく、生活の中で『使う』ことが求められる。このことは英語を使う生活のすべての面での能力向上につながるため、当社としては海外派遣予定者の訓練に活用している。

**KDD学園 研修部 第2研修課長**

当社では海外要員育成教育システムの中に LIOJ を組み入れているが教師陣の質の高さとバラエティに富んだカリキュラムは新人・中堅を問わず好評である。

**富士通株式会社 教育訓練部教育訓練課長**

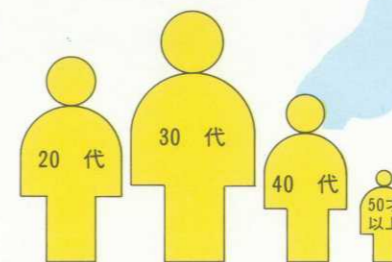
ある程度の基礎力があり、あと少して英語を話せるようになるレベルの者を育成するには強制的かつ集中的な体験学習が望ましい、当社はこうした考えで社員を LIOJ に派遣している。

**ブリヂストンタイヤ株式会社 人事部 研修課長**

当社では海外協力事業を積極的に展開しており、国際性豊かな人材の育成を図るため英語力のレベルアップ並びに外国語の雰囲気への体得に LIOJ を活用しています。

**電源開発株式会社 労務部 研修課長**

### 年齢構成



急速に距離と時間が短縮された世界の共通語はやはり英語である。加えて、当社は多国籍企業であり、多くのInternational Managerの来日、又日本人従業員の米国本社派遣や Training に LIOJ は欠かせない存在である。

**P & Gサンホーム株式会社 総務部長**

### ●最近3年間の受講者状況

	1979年 (1~11回)	1980年 (1~11回)	1981年 (1~10回)	合計	割合
20代	90	112	106	308	34.3%
30代	149	158	139	446	49.7%
40代	25	38	57	120	13.4%
50才以上	7	6	10	23	2.6%
合計	271	314	312	897	100.0

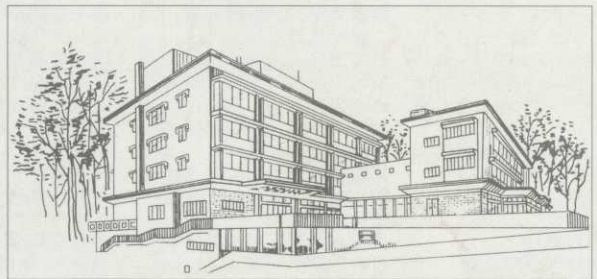
# LIOJ

LANGUAGE INSTITUTE OF JAPAN

日本で初めて全寮制による英語集中教育方式を採用する語学教育・研究機関として昭和43年3月設立。短期間で生きた英語の習得と外国文化の理解を図るとともに国籍を越えた真のヒューマンリレーションを体得していただくため英語オンリーの徹底した生活学習環境を設定して、独自の研究開発をすすめています。1982年開講予定

- 企業人向け《合宿》英語特訓課程（4週間）年間11回
- 夏期大学・短大生向け《合宿》英語特訓課程（3週間）  
第Ⅰ期7月19日～8月7日・第Ⅱ期8月16日～9月4日
- 英語教育者のためのワークショップ（1週間）8月8日～8月14日
- 通学コース 春・夏・秋・冬（各10週間）年間4期

また、語学教育と文化コミュニケーションの機関誌「クロスカルレンツ」の発行、新しい教材の製作や教授法の開発、在日外人英語教師のための「TEFL会議」の開催、東南アジア諸国からの奨学生の招へいなど、日本の語学教育の発展と国際文化交流に寄与しています。



●LIOJ本部事務局「企業」係

神奈川県小田原市城山 4-14-1 〒250  
アジアセンター内 TEL:0465-23-1677

●LIOJ東京オフィス「企業」係

東京都港区南麻布 4-9-17 〒106  
お問合せのTELは本部事務局まで。